



前回お送りした「NEWS LETTER」の発行番号に誤りがありました。つきましては、次の通り訂正をさせていただきます。
誤: VOL.214 → 正: VOL.213



第25回 通常総会を開催しました

新型コロナウイルス感染症が、令和5年5月8日に2類感染症から5類感染症に移行し、季節性インフルエンザと同じランクになりましたので、4年ぶりに対面で総会を開催しました。

理事長冒頭挨拶(抜粋)

昨日、市民福祉団体全国協議会の総会に出席いたしました。有償無償のボランティア団体がコロナ禍の中で苦戦した報告が寄せられました。その中で、たすけあいあさひは善戦したと思います。

たすけあいあさひの活動の特徴の一つである移送サービスの活動に関しては、本年度見直しができる予定です。今まで以上に努力していきたいと思います。

昨今ヘルパー不足が問題となっています。たすけあいあさひも高齢化してきています。継続するためには世代交代が必須です。引き続き人材募集に力を入れていきます。

今年度も様々な問題に力を合わせて乗り切っていきたいと思います。 牧野 洋子

2022年度事業報告

2022年度も前年度に引き続きコロナ感染症対策の中での活動でした。

少しずつ落ち着きを取り戻す中で新規依頼も途切れなくありました。IT活用を推進し、効率化を図りながら、きめ細やかな活動を心がけました。また、働く人の健康管理を推進するため健康診断受診を呼びかけほぼ100%達成することが出来ました。インフルエンザ予防接種やストレスチェックも実施しています。たすけあいあさひの活動の基盤である任意活動も継続出来ました。

居宅介護支援事業所(ケアマネジャー)では定年を迎えたケアマネジャー等2名の退職がありましたが、新任のケアマネ1名を迎える事ができ、利用者の引継ぎもさせていただいております。また、ケアマネジャーの資質向上のため、主任ケアマネ取得に積極的に取り組んでいます。

訪問介護事業所(ヘルパー)では、コロナ禍の影響でガイドヘルパーの活動は制限されましたが、徐々に回復してきています。

通所介護事業所(デイサービス)では、作品作りに力を入れ利用者に喜んでもらっています。平均利用者11.6名(定員13名)という結果を残しています。



勤続 10 年の表彰を受ける、
移送サービスの木村正明さん。



前方の 2 名の方は、
監事の江口様、倉田様です。

利用者の現状

2023年3月末のたすけあいあさひの介護保険居宅介護支援事業、予防居宅介護支援委託と、訪問介護事業・通所介護事業の通算利用者は490人(2022年462人)でした。(通算利用者とはあさひのサービスを複数利用している場合お1人と算定)

2022年の旭区の事業所数は、介護保険居宅介護支援事業所57(2021年59)、訪問介護57(2021年51)です。

(資料:介護情報サービスかながわ)

介護保険利用者数(2023年3月末現在)

	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
たすけあいあさひ	39	103	87	153	60	32	16	490

その他利用者数(2023年3月現在)

	任意		障害者 自立支援
	オカピ	在宅	
利用者数	18	44	55